

12スーパーバイザー齊藤先生の模範授業。34ネットに潜む危険性を学んだいのちの講演会。5ボランティアの中学生と町職員がイベント前に打ち合わせ。68育成会の宿泊研修出発式。「自分たちが5年生だった時は緊張していたので、楽しく過ごせるようお手伝いしたい」と話してくれたジュニアリーダーの齋藤千聖さん(写真右)と松田ほの華さん(写真左)。79「食べ物で身体をつくる」地産地消を進めている学校給食。10いろんな立場からの意見を伺う学校保健委員会。



たくさんの手で支える教育

学校、家庭、地域、いろんなところで、いろんなかかわりで、町の子どもたちを育てる。生涯学習や、スポーツを通して、ずっと学び続ける。それが、町の目指す教育です。今、実際どんなことが行われているのでしょうか。

平成28年度に入り、大綱に基づいた施策が開始しています。いろんな現場で行われている教育の具体的な活動をご紹介します。

授業づくりを学ぶ

子どもたちの「生きる力」を育むための一つの視点として、社会を生き抜く基盤となる確かな学力の育成があげられます。そのためには、学校の先生方が、子どもたちにとってわかりやすく、子どもたちにとって重要な授業を行うことが重要です。

先生方がどうしたらこのような授業を実現することができるかを学ぶために、7月14日に「学力向上推進事業 長崎小学校授業研究会」が行われました。指導してくださったのは、横浜市の公立学校の校長先生である齊藤一弥先生です。実務経験が豊富で指導力が高い齊藤先生を、町ではスーパーバイザーに委嘱しました。

この日は、学習指導要領の改訂とこれからの算数教育のポイントをテーマに、齊藤先生の模範授業と講話、長崎小の先生の研究授業が行われました。この研究会を通して、目指すべき授業のあり方と、改訂のポイントを生かした授業づくりを学ぶことができたようです。このスーパーバイザーによる授

業研究会は、豊田小学校と中山中学校でも行われる予定になっています。

「心」の豊かさを育てる

学力だけでなく、「いのち」を大切に、豊かな心を育む取り組みも各校で行われています。

そのうち、中山中学校で毎年開催している「いのちの講演会」もその一つです。今年も、7月27日に「自分の子どもをネットの危険から守るために」をテーマに山形警察署生活安全課の米野調査官を招き、インターネットやSNSに潜む身近なトラブルについて講演を聞きました。嶋倉校長先生は冒頭、「君たちもいざ親になる。講演内容をしっかり受け止め、中山の将来をつくる芯のある人材となってほしい」とあいさつし、生徒たちは真剣な表情で講演会に臨んでいました。

また、学校の中だけでなく、子どもたちが地域の人にかかわり、町の自然や文化、歴史とふれあうことでも「心」の豊かさは育まれます。町の行事「全国かぶと虫相撲大会」では、中山中の有志生徒たちがボランティアとして大会運営にかかりました。

また、小学生を持つ親で構成する「町子ども会育成会」が主催する小学5年生の宿泊研修では、中学2年生が

ジュニアリーダーとして、例年、役割分担を決めて小学生の世話をしています。学校以外の地域の行事に参加することで、いろいろな交流が生まれ、ふるさと中山町の良さを知ることができます。

笑顔は健康な身体から

学校給食センターの栄養教諭と各小中学校の給食主任を中心に、給食を通して児童生徒の食育事業を進めています。栄養教諭は、毎日の献立作りはもとより、学級に入っての給食指導や、学級担任と連携して食に関する授業を行うこともあります。

また、各校では、「学校保健委員会」を設置し、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、PTAの皆さん、町保健師、教育委員会といったいろんな立場の人が一緒になって、児童生徒の健康について話し合いを持っています。確かな学力も豊かな心も、健康な身体があつてこそ培われます。子どもたちが、自分たちの力でよりよい生活を作っていくように大人たちが見守っていく必要があります。

計画的な施設整備を実施

中学校は改築が完成し、現在旧校舎の解体工事が始まっています。小学校

においては、年次計画を立て、改修工事を順次進めています。大きな工事としては、昨年、豊田小学校で空調設備を改修したほか、長崎小学校では、この夏休みを利用して、空調設備と北校舎の外壁と屋根の改修を行っており、学習施設の充実を図っています。

「スポーツの町」の新展開

学校だけでなく、今年度はスポーツ分野でも目玉事業が計画されています。その一つとして、日本体育大学と「スポーツ推進・健康づくりに関する協定」を結ぶことになりました。これを機に日体大と連携してスポーツの町づくりを推進していくことにしています。8月29日には中央公民館で調印式と松浪健四郎理事長を招いた講演会を開催する予定にしています。

学校、家庭、地域、それぞれの中で、いろんな立場のたくさんの人がかかわっている教育の現状をお伝えしました。最後に再び教育長の言葉です。「教育は人をつくり、人は町の未来をつくります。感謝の心を忘れず夢を持って歩んでいってほしい」夏休みの今、教育のことを考えてみませんか。